

うさおと Cacco の



そうだ

名古屋へ、行こう。



ある日気がついたら、うさおとふたり名古屋に行くことになっていた。ライ隊員とお留守番予定だったうさおはまさか自分が行くことになるとは直前まで思ってもみなかったはず。人生何が起きるかわからない。

まずナゴヤドームのチケットが2枚当たっちゃったことから話は始まる。一緒に行く予定だったかずくんはその日結婚式がブッキング。それならば一度やってみたかったオークションに参加してみよう。まず、超良席チケットを2枚手に入れる→それをオークションで一枚だけ売っばらう→高値がついて新幹線代、お土産代が出る、という都合のいい妄想の虜になってオークションの準備を万端整えていたら送られてきたチケットは超悪席だった！神様はいつも見てらっしゃる。売らない先から戒められる。今までだってズルしないで生きてきた（つもり）だけど、神様はわたしにもっと目一杯精一杯誠実に生きなさいとおっしゃる、あ〜あ。ドームという広いキャパでは良席以外を売ることはなかなか難しい。席がわからないうちに売りに出すか、ガッツで良席チケットを手に入れるしかない。

今回の教訓 = ドームのチケットは公演日が近付いたら必ず値崩れする。ファンクラブではずれても焦らずチャンスを待て！！ということだ。はいはい。

そんなこんな紆余曲折を経て名古屋行き相方はうさおとなり、それならずっと行きたかった明治村も見に行こうと「明治村 アント Mr.Children ナゴヤドーム観戦日帰りツアー」が決定し、うさおと Cacco は12月20日精一杯の早起きをしてAM8時49分新横浜発の新幹線で一路名古屋を目指したわけなのです。



新幹線って早い。愛・地球博以来の名古屋。由佳ちゃん元気〜?!と手を振りながら急いで犬山線に飛び乗る。電車は前日降った雪がまだ消えずに残る街並みを走っていく。明治村までは犬山駅からバスで20分あまり。バス停に行ってみると

バスは出たばかり。じゃあお茶してようか、とお茶飲み好きなわたしが言おうとしたとき、やはりバスを待っていたふたりの女性に「よかったらタクシー相乗りしませんか？」と声を掛けられた。



彼女たちは前日、愛・地球博の跡地を見学に行ったんだそう。「あたしたちも愛・地球博行ったんですよ～」と盛り上がる。「でも昨日は夕方から用があったのであんまり時間がなかったの」という彼女の言葉にすかさず反応して「もしかしてコンサート？ナゴヤドーム？ミスチル〜？」



「きゃあ♥♥♥」同志とわかり大いに盛り上がる！メアド交換会をして一緒に写真を撮って。こんなことがあるからミスチルって楽しい。アタシたちみたいな年寄りがファンだとはまさか思わなかったんだろうね。ミスチルのファン層の広さを自身で体現しているわたし。

さて、明治村入り口で記念写真を撮り終えて、いよいよ明治村散策。これからたくさん歩かなければ。がんばるぞ。



明治村はフランクロイド・ライトの設計した帝国ホテルがあるので、行きたかった。大学の先生の謝恩会だったか、先生が学会の賞をとった時だったか忘れたが、その時に出かけたのがうさおにとって最後の帝国ホテルだった。

それから間もなく、ホテルは取り壊されて、明治村へ移築された。あの時、外壁のタイルでも盗んでおけばよかったなあ。

入口から帝国ホテルまでは小一時間歩きますよとのこと。うさおには無理、無理。すぐにバス、京都市電、機関車の乗り継ぎ券を購入。Cacco の俄かお友達とともにバスに乗り、蘊蓄をひとくさり。京都市電は琵琶湖疏水を作った田邊朔朗が、日本で初めての水力発電所を作り、その電気を用いてトロリー線を引いたなんて話をしたが、Cacco は聴いてくれていなかった。

夜のコンサートに気を馳せていたのかも。



村内地図 5丁目～4丁目

弁慶号型の汽車に乗る時は、駅は山の上で発車の汽笛は鳴るし、駆け上がって客車に乗った時はここで死ぬかと思った。帝国ホテルは外観には記憶があったが、内部はほとんど記憶に無かった。クリンカータイルだか煉瓦にライトのサインがあった筈。三筋の線だったかな、探してみたが分からなかった。



帝国ホテルの天井が低い事に吃驚。空間の閉塞感にやけに日本風を感じたよ。

園内は若い人が少なかったがここにはいたぞ。

←帝国ホテル中央玄関
旧所在地 東京都千代田区内幸町
建設年代 大正12年(1923)



↑川崎銀行本店
旧所在地 東京都中央区日本橋
建設年代 昭和2年(1927)



聖ザビエル天主堂



宇治山田郵便局



六郷川鉄橋



金沢監獄中央監視所・監房
旧所在地 石川県金沢市小立野
建設年代 明治40年(1907)



呉服座
旧所在地 大阪府池田市西本町
建設年代 明治25年(1892)



さて、地味な存在だが六郷川橋梁は、鉄っちゃんならご存知、日本初の新橋ー横浜の鉄道に架かっていた六郷避溢橋の名残だ。次は呉服座と書いて「くれはざ」と読みます。この辺りは京都太秦の映画村みたいで、少しちゃちいです。金沢監獄はCaccoのお気に入り囚人の面会室に裏から入れることに気づき、撮ってくれ、撮ってくれと五月蠅かったので撮りました。冬だったので単衣の囚人は寒かったでしょう。

村内地図 3丁目～1丁目

前日の雪の影響で、園内にも雪が積もっているところも多かった。東山梨郡役所に明治村の村長室、役所があります。道の両側の白い処は雪が積もっていた処です。



明治村の村長さんは、
小沢昭一さんだよ。

長崎居留地25番地→
旧所在地 長崎市南山手町
建設年代 明治22年(1889)



←東山梨郡役所
旧所在地 山梨県山梨市日下部町
建設年代 明治18年(1885)

汐留レンガ迷路



森鷗外・夏目漱石住宅



品川燈台→
旧所在地 東京都港区品川
建設年代 明治3年(1870)



←聖ヨハネ教会堂 旧所在地 京都市下京区河原町通五條
建設年代 明治40年(1907)



三重県庁舎



菅島燈台付属官舎



北里研究所本館・医学館

北里研究所はT教授も訪れた所。覗いてみたが、タツオトさんも日出彦さんも南方熊楠さんもいなかった。あっ、もともと熊楠さんはいなかったか。

灯台と言えば横濱に在するうさおは、「ヴェルニー」か「ブラントン」って直ぐ答えちゃうよ。で、ここにある品川燈台は、ヴェルニーが手掛けたもの。ヴェルニーといえば、横須賀汐入の軍港の脇にヴェルニー公園があります。以前にも色々ご紹介した筈です。日本に横須賀造兵廠を建設し、観音崎灯台、野島崎灯台、品川灯台、城ヶ島灯台を造ったのです。ここの中に昔使われた灯台の実物が置いてあり、くるくる動かしておりました。

私たちが訪れたときの明治村は、従業員の数に比してお客さんの数はまばらで、電車やバス、機関車の運行費用も出なさそうだったし、幾つかあるレストランも日曜日だと言うのに閑古鳥が鳴いていた。大丈夫なのか、明治村。大阪のユニバーサルスタジオのような集客する魅力に欠けるなあ。かと言って、園内にアミューズメントを増やすと、歴史的建造物を見たいというお客の要望を裏切ることになるし、頑張っ欲しいなあ。



時間の経つのは早い。明治村に心を残しつついよいよナゴヤドームへ向かう。犬山駅行きのバスに乗るとうさおが「後ろのバスにさっき会った人たちが乗ってるよ」

あらら。再び邂逅。彼女らは名古屋駅へ、わたしたちは犬山駅へ。「桜井さんによろしく！」なんて言われると照れちゃうよ。名鉄小牧線にてナゴヤドーム前矢田駅まで。もう3時半だ！急がなければ。後ろの座席の男の子がミスチルのことを話してる。かれらもナゴヤドームに行くんだ。なんだかうれしくなってくる。



矢田駅に着くとライブに行く人で通路は渋滞模様。駅からすぐのはずのナゴヤドームになかなか着かない。あ、ツアートラックだ！でももう開演10分前のアナウンスが流れ始める。急いで写真だけ撮って走る。だってみんな知らないうちに走ってるじゃない！！すっかり走るのが苦手になったうさおは「ゆっくりお茶なんか飲んでるから！」と怒る怒る・・・



ギリギリセーフ。あ～間に合ってよかった。さてここからは心静かにならなくては。



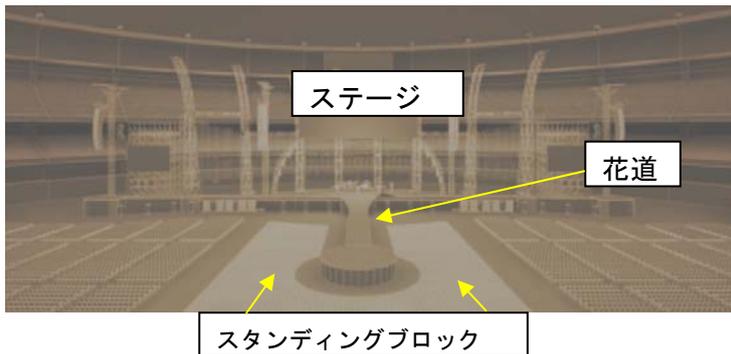
アルバム『SUPERMARKET FANTASY』を引っ提げての前哨戦・アリーナツアーで武道館に行ったのは9月。そのときはドームツアー開催はまだ発表されていなかった。いざ追加公演が決まると、席が悪いなんてことがあったりする。でもね、来てしまえばやっぱり好き。「好き」があればなんにもいらないじゃない。

IN NAGOYA DOME



12月20日 PM5:00開幕





さて、今回のドームツアーステージにはミスチル史上初の花道が作られることも話題だった。花道の周りはスタンディングブロック。みんなこの席を狙っていたわけ。わたしなんかはすっかりここが当たるつもりになってたわけで・・・

花道の先端の円形ステージに一筋のスポットが当たり、そこにひとり立つ人が浮かび上がる。動かない。ぼつんとピアノが鳴る。動かない。数秒、数十秒、1曲目がやっと始まる。「言葉はなかった メロディすらなかった リズムなんてどうでもよかった」ライブをすることとは逆説的な歌詞。そういうところがまたミスチルらしい。バンドも音を鳴らし始める。ライブの開始だ。



このライブで歌われた歌は24曲。その中で知らない歌は2曲だけだったといううさおはなかなか立派。そんなうさおに初のミスチル体験感想を求めたところ、「すごい機材を使ってるなあ。音響スタッフがたくさんいるなあ」おいおい、ちょっと違うでしょ。

ぴったり2時間半。ラスト曲は「G I F T」だった。余韻に浸る間もなく会場を出る。なにしろあたしたちは日帰りツアーなんだから忙しい。おっと、その前にグッズ売り場前で記念撮影*^^)v



早く出た甲斐あって名古屋駅でゆっくり夕食。
うさおさんお疲れさま。また行こうね、名古屋。

ミスチル ぼがぼんど



名古屋から戻った翌週末26、27日は東京ドーム！！
24日クリスマスイヴにはWOWOWで生中継もあってミスチルツケの年末となる。大掃除なんてそっちのけでどっぷりミスチルに浸かる♡とにかくドームなら席をとやかく言わなければチケットは取れる。ちょっと取れすぎたチケットはグリコちゃんとグリコままに譲って、みんな楽しくミスチル観戦だ〜！！



グリコママとお友達。↑
ミスチルライブ初参戦！



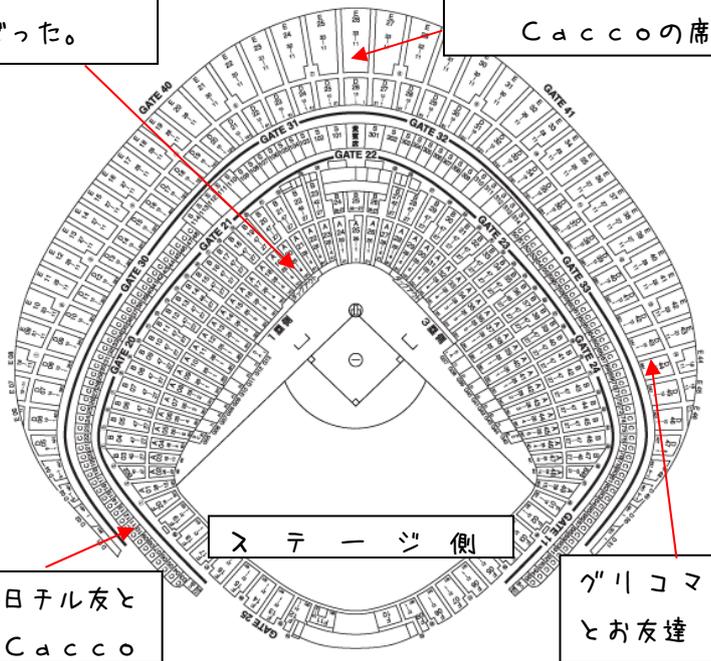
めずらしく写真に
↓おさまったかずくん。



26日は、2階席とっていいバルコニー席。しかもステージサイドなのでスクリーンが見えない。野球を見るならいい席なんだけどなあ。翌27日は二階席。これは純粋3階席。ちょー遠い！いったいどうなることかと思っていたら・・・米粒のような桜井君なのにファンは総立ち、後ろの後ろの後ろの席まで熱気に溢れている。まるで阪神応援の外野席のよう。なんだかすごいぞミスチル。そして2009年は暮れた。2010年もまたミスチルと一緒にいい一年が過ごせる事を祈って。

名古屋はこの
辺だった。

27日かずくと
Caccoの席



26日チル友と
Cacco

グリコママ
とお友達

- 声
- ラヴコレクション
- DANCE DANCE
- DANCE
- WORLD DEND
- HANABI
- ロードムービー
- 風と星とメビウスの輪
- ALIVE
- LOVEはじめました
- MONSTER
- ニシエヒガシエ
- CANDY
- SIMPLE
- DRAWING
- 彩り
- FANFARE
- 箒星
- 名もなき詩
- エソラ
- 声
- 終わりになき旅
- (アンコール)
- 365日
- AND I LOVE YOU
- GIFT